

川崎日香湮 出雲大社 作品奉納 ご報告

製作
文責

川崎日香湮日本画活動事務局



拝啓 師道に入り寒きも本格的になりました。
皆様にお礼まじりに益々御清栄のこと
心よりお慶び申し上げます。

この度は川崎日香湮出雲大社日本画奉納に際し
御力添えを賜りましたこと心より御礼申し上げます。
お陰様で先月、日に無事、作品を生雲大社へ
納めることが出来ました。

皆様の御芳名は額の裏側へ自ら心込め
記させていただきました次第です。

神祇の地、出雲、諏訪、そして、故奈川の里を
恐れ多くも絵の奉納という形で結ぶことが
出来ましたことは幸甚の至りに存じます。

今後とも皆様から戴いた温かいお心を胸に日々精
進し邁進して行く所存でございます。

いよいよ今年も残り一ヵ月となりましたが
うで佳きお年をお迎え下さいませ。

略儀ながら書中をもちまして御礼申し上げます。
かー！

平成三十七年 師道

日本画家
川崎日香湮



綿本パネルに岩絵の具、糸魚川産ヒスイ顔料使用、墨、本朱、純金箔、銅箔、プラチナ泊
額装サイズ W6150cm×H2019cm

旧暦の十月を一般的には神無月と呼びます。これは国中の神様が出雲へ行ってしまう為に、各地の神々が留守になっ
っている事を表します。

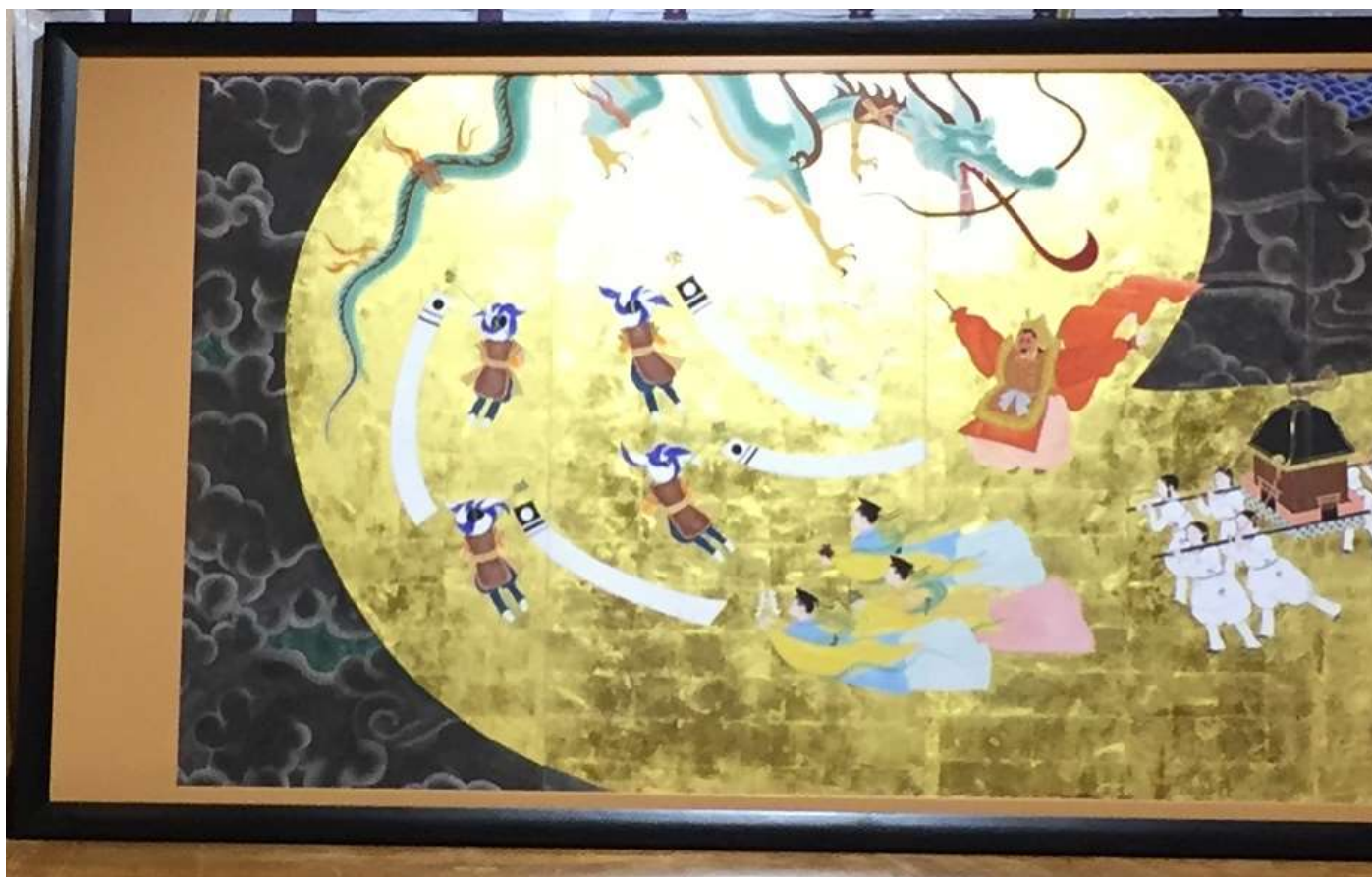
逆に神々が集まる出雲では、神在月（かみありつき）と呼び、八百万の神々が出雲大社の大国主命のもとで国中のあらゆる縁結びの相談をされます。

大社では神在祭が執り行われ、そのはじめとして毎年十一月二十一日に、大国主命がニギノミコトと国譲りのやりとりをした聖地、稲佐の浜で神迎祭が執り行われます。浜では祭りの前に神々を先導するという海蛇が打ちあがるため、その蛇を祀った龍蛇信仰も盛んです。神在祭の最中は毎年天気が荒れ、それを「お忌み荒れ」と地元の人々は呼び、神々の相談の邪魔にならぬようテレビもつけずに静かに暮らすといわれています。

日本最古の歴史書「古事記」には、大国主命が出雲の国から遠い遠い高志（越）の国にやってきて、賢くて美しい奴奈川姫に求婚する様子が、長い歌謡形式で記されており
ます。奴奈川姫の「ぬなかわ」とは「玉の川」と訳され、硬玉（ヒスイ）の世界的産地である新潟県糸魚川市の姫川の事であるといわれます。奴奈川姫とは、弥生時代ヒスイによる交易により北陸一帯を支配していた巫女王であったと考えられています。

姫は現在の新潟県上越市五智にある岩殿山にて大国主命との間に建御名方命をお産みになり、その建御名方命は後に国譲りの舞台で登場し、諏訪大社の御祭神であられます。寛文五年（一六六五）の出雲大社ご造営にあたり、大社東側に鎮座する摂社、命主社の裏の大石を石材として

奉納絵 『 神在月 高志から出雲へ 』



切り出したところ、糸魚川産の最高級ヒスイ（ろうかんと呼ぶ）の勾玉（重要文化財）が発見されております。

奉納絵「神在月 高志から出雲へ 古事記編纂1300年記念」は、神在月、奴奈川姫の神輿が高志の国から出雲へ向かっている場面を描きました。献上品であるヒスイの勾玉を携えた女官、糸魚川市の祭りに登場する凌王や稚児らがそれを取り囲んでいます。一行を先導するのは、神在月に稲佐の浜に打ちあがる海蛇、また姫は龍神とされるので三頭の龍を画面に登場させました。また背面には金箔が大きな勾玉の形を描いております。この作品は構想から約三年をかけて描いたものですが、出来上がりだったので古事記編纂千三百年の年にあたりましたので、題名に「古事記編纂千三百年記念」と続けております。

本作品が出雲大社に掲げられることは、日本画家川崎日香溼としましてこの上ない喜びとなりました。そしてそれのみならず、この度の奉納が、大国主命のいらした出雲・建御名方命のいらした諏訪・そして奴奈川姫のいらした高志の国の神代の時代からのご縁を確認しより一層の交流がなされるきっかけとなれば幸いに存じます。



平成二十七年度出雲大社神迎御幣

十一月八日 奉納

平成二十七年十一月八日(日)
午前十一時より

出雲大社本殿及び仮拝殿にて

奉納者 川崎日香渥

同席 安来市 野崎ふしみ氏

糸魚川市 土田孝雄氏

糸魚川市 丸山隆志氏

川崎日香渥日本画活動事務局

井部真介



出雲大社権宮司
千家和比古氏

十一月八日、出雲大社に絵を奉納致しました。安来市の野崎ふしみ先生、糸魚川市より土田孝雄先生、丸山隆志さんに同席を頂いております。

奉納絵は神職らの手により仮拝殿に飾られており、出雲大社千家和比古権宮司より感謝状と銀杯を授与されました。

七五三で賑わう中、大社の皆様には丁寧なるご対応を頂き、本殿まで進み大國主命にご参拝をして参りました。



◇ 新聞報道ご紹介



信濃毎日新聞 九月二十四日



山陰中央新報 十一月十日



上越タイムス 十一月三日



毎日新聞山陰版 十一月十日



十一月二十一日、稲佐の浜から出雲大社神楽殿へと神々をお迎えする神迎祭、そして神在祭の二十二日に出雲大社へ、川崎の家族を伴い改めて参拝して参りました。

大社では奉納でもお世話になりました千家権宮司様より本殿までご案内を頂戴し、大変貴重なお時間を頂きました。神在祭の大変お忙しい中、千家権宮司様にはお心遣いに心より感謝申し上げます。

大国主命には、この度の川崎日香湊の奉納に対しお力添えを頂戴しました皆様のご健勝とご多幸をお祈りさせて頂きました。この場を借りまして皆様に改めて家族一同より御礼申し上げますと共に、今後とも川崎日香湊の活動に変わらぬご支援を頂戴いたしますようお願い申し上げます。

十一月二十三日 祝賀会

平成二十七年十一月二十三日(月)
午前十一時〜午後三時

会場 ホテル一畑平安の間(松江市)
主催 野崎ふしみ氏
トークショー

特別ゲスト NPO法人出雲学研究所理事長

お花 華道家池坊 阿部禎男先生
来賓 出雲市長 長岡秀人様
松江市副市長 能海広明様
諏訪市長 金子ゆかり様
糸魚川市長 米田徹様
上越市副市長 野口和広様
安来市文化協会会長 三島俊夫様

御祝の舞 翔 千之介先生(翔乃流2代目)
と翔乃流の皆様
出席者数 一六〇名

出雲市長 長岡秀人氏 ご挨拶



出雲はまさに今、神在月であり、全国八百万の神々がお集まりになっております。今日はそれに加えて全国から川崎さんにご縁のある皆様より縁結びのまち出雲にお集まり頂きました。古代出雲の大国主命は外交の達人であり全国を周っておられました。出雲の縁結びは男女の縁のみならず地域、国を結ぶ縁です。日本史発祥

の地出雲から、川崎さんの奉納を契機に地域がますます結ばることを祈念しております。

諏訪市長 金子ゆかり氏 ご挨拶



川崎さんには本年6月に諏訪大社上社本宮に御柱祭りの絵を奉納頂きました。編纂より千三百年を迎えた古事記には大国主命と高志の国の奴奈川姫とのラブロマンスが書かれております。そして生まれた玉のような男の子が建御名方命、諏訪大社の神様です。国譲りにおいて出雲側でただ一人、伊勢の神に

抵抗した荒ぶる神であり、坂上田村麻呂や武田信玄らに崇拜された戦いの神です。本日は、諏訪大社の神様のお父さん、お母さんに招かれると

いう神話の時代からの親戚付き合いで神在月の出雲にお招きいただきました。こんな素敵なロマンがあるだろうかと感慨深く思っております。川崎さんは糸魚川産ヒスイや諏訪産黒曜石を顔料に用いたりされておられ、この度の奉納絵も日本画の原点に帰った力作です。益々のご活躍をファンとして期待しております。

糸魚川市長 米田徹氏 ご挨拶



川崎さんには奴奈川姫を愛して頂き広くPRを頂いております。川崎さん姫との出会いは糸魚川市郷土史家土田先生の著書でありました。その折に初めてお会いし随分とお若いお嬢さんだと思いましたが、それ以降姫や歴史を勉強されまた各地の神社などを周り、今では奴奈川姫研究の第一人者と言っても良い程の地域をお持ちです。姫の統治した糸魚川市は日本で唯一のヒスイの産地であり、姫とヒスイとは切っても切れない縁です。古代のロマンスが語るように出雲・諏訪・高志の国が親密な関係であった時代から、川崎さんの絵がご縁を取り持ち、今日ここにまたご縁を感じることができました。

上越市長 村山秀幸氏 ご挨拶(野口副市長代読)

川崎さんは奴奈川姫をはじめとする神々の世界を研究され、各地での講演や公開講座など幅広く活躍



*各市長様からのご挨拶は、本報告製作者の方で要約しております。ご了承ください。



いだ高志の国は深い歴史で結ばれており、川崎さんが結ぶ人々のご縁を大切に、皆様との末永いお付き合いが続いたらと存じます。

されております。また小林古径記念美術館運営委員をお務め頂いたり上越市の芸術・文化振興にも尽力頂いております。上越では奴奈川姫が上越市五智の岩殿山にて大国主命と共に生活しそこで諏訪大明神である建御名方命を産んだという言い伝えがあります。太古の昔から出雲、諏訪、そしてその間を繋



上越市奉納協賛者様

金貳拾万円

稲垣 彰様
田中 弘邦様
山崎 軍太郎様

金壹拾万円

株式会社 エムアイデザイン
代表取締役 三井慶満様
株式会社 竹田工務店
代表取締役 竹田義寛様
株式会社 ミタカ
代表取締役 秋山政一様
有限会社 渡辺自動車
代表取締役 渡辺眞次様

金五万円

植木 昌成様
大島 誠様
加藤 拓立様
株式会社 サトコウ
代表取締役 佐藤憲二様
株式会社 上越メンテナソ
代表取締役 市川裕光様
高坂防災株式会社
代表取締役 高坂光一様
佐藤 明臣様 文江様
フカミ美術 深見一夫様
深田 正明様 千代様
保坂 進様

高野 諭様
吉岡 光明様

金貳万円

川崎 宏様 美喜子様
巒田 秋夫様
熊木 繁雄様 裕子様
清水 恵一様 みどり様
高橋 俊宣様
馬場秀幸法律事務所様
彦坂 薫様
藤林 陽二様
和田 耕造様 成子様

金壹万円

青木 哲也様
新井ロータリークラブ様
医療法人 麓会様
ウイングシステム株式会社様
青木 哲也様
株式会社 エンスタツ様
大谷 光夫様
笠原 良平様
桂田美ブライダル上越様
金子 真琴様
菊間 健一様
栗和田 ノリ子様
有限会社 建築工房クラフト様
小坂 恵美様
小島 健男様
小島 昌弘様
小島 康資様
小菅 一雄様
小松 由未子様
小柳 忍様
酒井 隆利様

笹川 和史様
佐藤 眞様
株式会社 上越建築設計事務所様
須田 英樹様
高田北城高校の期生食物科有志様
高田ターミナルホテル様
高鳥 修様
高橋孫左衛門様
竹内 美喜子様
武田 佳子様
株式会社 谷村塗装工業様
東條 邦俊様
徳道 茂様
中村 暁様
新潟県国土測量株式会社様
野崎 治夫様
長谷部 聡様
羽深 耕時様
飛田 尚文様
藤田 明仁様
古澤 寿子様
有限会社 増井オート様
宮下 寿幸様
本山 秀樹様
柳沢塗料様
株式会社 山仙様
渡辺 卓様
渡部 静様
渡辺 尚武様



協賛者様御芳名は右写真のとおり川崎本人が筆を執り、心を込めて記させていただきましたものを奉納絵の裏に貼付し、絵と共に奉納させて頂きました。

皆々様に、出雲大社大国主命及び高志の国奴奈川姫の益々のご加護がございますように。

この度のお力添えに心より感謝御礼申し上げます。ありがとうございます。